

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	神奈川県悪性新生物登録事業にて収集されたデータを用いた、新型コロナウイルス感染症蔓延が大腸がん診断に与えた中長期的な影響の推定
	研究対象者	2016年4月から2021年3月までに横浜市の大腸がん検診に参加した住民および、2016年1月1日から2022年3月31日までに地域がん登録に罹患登録のある神奈川県民
	研究目的	大腸がん検診において、新型コロナウイルス感染症が受検者の検診への参加や病気の診断に与えた影響を推定することが本研究の目的です。
	研究方法	がん予防・情報学部で保有する匿名化（特定の個人に遡ることができないもの）された、大腸がん検診と、がん登録データを突合したデータセットを利用し、年度毎の大腸癌の発見数、病期分布を比較します。これによって、新型コロナウイルス感染症蔓延前後での大腸がん診断数、病期分布等の比較を行います。また、その変化によってもたらされる影響を損失余命を用いて推定します。この研究は、横浜市医師会との共同研究であるがん検診の精度管理事業の一環として実施します。
	個人情報保護	用いる情報は、個人を特定できないように匿名化されています。
	研究期間	2023年6月26日～2026年3月31日
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[X] 性別、 [] 既往歴、[] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[] 臨床検査値、 [] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] 看護記録 [X] その他(具体的に記載:がん検診情報)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	がん予防・情報学部・成松宏人
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部・中村翔 メールアドレス： research@nakasho.org 電話番号：045-520-2222（内線 4023）	